

小規模校における総合的な学習の時間のモデル開発

－ 子どもたちによるふるさとの祭りと芸能のアーカイブを目指して －

福島県教育センター 情報化推進研究チーム

主任指導主事 渡部 昌邦

jyugyouni_it@ml.fks.ed.jp

<http://www.center.fks.ed.jp/05ken3/maturu/>

キーワード：情報化推進，総合的な学習の時間，カリキュラム開発，e-Learning

1. 概要

福島県の約 50%を占める小規模校では、教員配置等の関係などから技能系の専門領域の指導者の確保が難しく、質の高い授業が実施しにくい状況にある。このような環境の学校においても、ITを活用することで効果的な授業を実施することが可能となる。そこで本研究では学年一クラス、児童十名程度の小規模校を対象に、「ふるさとの祭りと芸能の調べ学習」をテーマに関係機関等との連携を図りながら、総合的な学習の時間のモデルを構築するとともに、ネットワークを利用した新たな授業形態に関する実践研究を行った。

2. 実施内容

(1) 実施体制

この研究では専門的な知識・技能を有する外部講師の協力を得て授業支援の指導映像や補助教材などを作成を行った。これらの教材を教育センターサーバーに蓄積することで、研究校がいつでも利用できるようにするとともに、児童生徒や担当教員からの疑問などに関して、専門家に指導や助言を得ることで学習が深化することを目指した。学校からの質問や意見交流を研究参加校で共有するために専用掲示板を設け教育センターが運営管理を行った。また、他校における取り組みの状況などを動画等で掲載し、同じ学習テーマで学習している児童生徒が共有することで相互の学習活動が活発化するように配慮した。

(2) 開発教材

以下の教材を開発し専用 Web サイトから提供するとともに、意見交流のための掲示板を学習支援として準備した。

○オンデマンド教材

専門的な知識・技能を有する外部講師の協力による指導映像と説明や補助画像資料をオーサリングソフト (StreamAuthor2.0)により教材群として開発。教材はサーバに蓄積し、ネットワークを通して研究校がいつでも学習に利用できるようにした。

○教師用資料

協力を得た専門家から著作を利用する許諾を得て、学習を進める上で参考になる基礎的知識や代表的な祭りの説明をまとめた教師への支援教材を作成。

○児童用ワークシート

課題の明確化、まとめ方の例示など、オンデマンド教材と連動した児童の学習ガイダンス・ワークシートを Web サイトから提供。

○関連資料

福島県内の代表的な祭りや民俗芸能の分布マップや祭りに関連する Web サイトなど、学習に関連する情報をまとめたリンク集等を提供。

3. 成果と課題

○地域を越えた学校が学習課題を共通にして学習を同時に進めることで、他校の活動や学習のまとめから多様なものの見方や考え方を知り、自らの考察を深める場面が見られた。また、これまで小規模校単独では意識させることが困難であった、伝えようとする相手を意識した学習活動に変化し、さらには、学校間での情報交換や TV 会議などでの交流へと発展した。

○外部の専門家の協力を得ることで題材の深い理解に基づいた教材の作成が可能になった。また、学習過程で児童が気づいた疑問や調べ方、レポートのまとめについても随時アドバイスをいただくことで、児童の学習が円滑に進展し、課題追求が発展的に深められた。

○今回開発された教材や各学校が取り組んだ学習過程やまとめは Web サイトにまとめられ、総合的な学習の時間の実践モデルとして、他の学校からも参照されることになる。今後は実践事例を多く集積していく必要がある。